

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日 令和7年6月26日

部課名 健康こども部スポーツ局スポーツ振興課

施設名	岩木山総合公園、そうまロマンТПィアスキー場、岩木山百沢スキー場
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため、並びに観光・レクリエーション等の余暇活動の場を提供することにより、観光及び地域振興を図り、併せて市民の冬期間の健康増進に資するため設置したもの。
所在地	別紙
指定管理者名	一般財団法人岩木振興公社
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
1 事業計画の実施状況 地域住民の健康増進とスポーツレクリエーションの普及・推進を図るとともに、地域振興の一翼を担う施設として、概ね計画通りに実施されている。 施設の維持管理については、安全管理に努め、適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 岩木山周辺の小規模学校の子供たちを対象としたスポーツに親しむ環境づくりを図るための事業や健康づくり事業、競技スポーツ大会、合宿誘致など、地域振興並びに子供から高齢者まで各施設の特性を生かした各種事業を実施し、施設の有効活用とスポーツ振興に寄与している。	
3 市民サービス向上のための取組状況 無料貸出傘の用意、無料送迎シャトルバスの運行、熱中症指数計貸出、宅配受付、コピー・FAX受付、忘れ物コーナー設置、休日当番医掲示、観光・交通案内、観光パンフレット配布コーナー設置、車いす貸出、健康器具・スポーツ用具貸出、市民団体からのチラシ・ポスター張り出し等を行っていた。 岩木山百沢スキー場、そうまロマンТПィアスキー場では、期間限定にて無料送迎シャトルバス運行の実施、岩木山百沢スキー場ではシニアレンタルサービス及びキッズ対象のスキー教室を無料で実施。そうまロマンТПィアスキー場では、ショートポールを設置し無料でコース開放するなどしていた。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 利用者のニーズを運営に反映すべく、アンケート用紙による調査を行うとともに、来場者にアンケート用紙を手渡しにて記入を依頼し、市民ニーズの把握に努めている。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

前年度までの利用状況进行分析し、利用者数増加を図った。主に平日の利用者を増加させるため、自主事業および施設有料使用者に対し一定条件のもと無料送迎を行うなど誘客促進に努めていた。

6 指定管理業務の収支状況

複数業者への見積依頼、自社で清掃業務を行うなど経費削減に努めていた。また、各種目スポーツクリニック、大会等の開催により、地域密着型の健康づくり事業を行い、誘客に力を入れていた。また、施設別で収支を適正管理していた。

7 実地調査の結果

毎月の業務報告については、提出が遅れる月があり改善の余地があるものの、自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

<岩木山総合公園 体育館>

利用件数：目標 1,356件 実績 1,126件 達成率 83.0%

利用人数：目標 44,448人 実績 21,195人 達成率 47.7%

<岩木山総合公園 野球場>

利用件数：目標 59件 実績 43件 達成率 72.9%

利用人数：目標 10,389人 実績 4,970人 達成率 47.8%

<岩木山総合公園 多目的グラウンド>

利用件数：目標 82件 実績 49件 達成率 59.8%

利用人数：目標 13,251人 実績 9,246人 達成率 69.8%

<岩木山総合公園 テニスコート>

利用件数：目標 705件 実績 456件 達成率 64.7%

利用人数：目標 17,881人 実績 9,540件 達成率 53.4%

<ロマンチックスキー場>

利用者数：目標 120,437人 実績 165,955人 達成率 137.8%

<岩木山百沢スキー場>

利用者数：目標 235,654人 実績 284,772人 達成率 120.8%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	弘前市の合宿誘致事業への協力、また、弘前市の事業への職員派遣、大手スポーツ用品メーカーとの共催、弘前大学と地域スポーツ団体、行政と連携した自主事業を行った。また、研修など職員育成も行った。 施設利用における新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、感染防止に努めた。	適正な施設運営に努め、誰しもがスポーツを楽しめる拠点となり、ひいては地域振興の一翼を担う施設を目指す。
施設の管理	B	スポーツファシリティーズ保険への加入、施設・設備の修繕工事など、施設の維持管理に努めた。	利用者の安全を第一に、適正な管理に努める。
経理の状況	B	適正に実施されていた。	常に収支状況を把握し、情報整理に努める。
団体の財務状況	B	問題なし。	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有している。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	適正な施設運営や自主事業の開催を行っている。	職員の資質向上と積極的な利用者ニーズの把握を図り、今後も適正な施設運営に努めていただく。
施設の管理	B	利用者の安全管理や不測の事態に備えるため損害賠償保険へ加入するとともに、個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設や備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。専用口座化はされていないものの、指定管理業務に係る経費とその他業務に係る経費が適正に管理されている。	帳簿等により、指定管理業務に係る経費とその他業務に係る経費の適正な管理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する